

令和3年度第4回 長野市総合計画審議会 会議録

日 時：令和4年1月28日（金） 午後3時から午後4時40分まで

場 所：講堂（第二庁舎10階）

出席者：委 員/（会場出席）金物委員、市村委員、藤原委員、牧野委員

（リモート出席）荒井委員、伊藤委員、大日方委員、川北委員、熊井委員
轟委員、廣田委員、宮沢委員

（欠席 青柳委員、池尻委員、萱津委員、黒岩委員、小木曾委員、清水委員、梅干野委員、横地委員）

長野市/ 池田総務部長、西澤企画政策部長、財政部長代理：臼井財政課長、宮岡地域・市民生活部長、中澤保健福祉部長、日台こども未来部長、伊熊環境部長、下平商工観光部長、小林文化スポーツ振興部長、櫻井農林部長、小林建設部長、都市整備部長代理：平澤都市整備部技幹、西山会計局長、樋口教育次長（行政）、勝野教育次長（教育）、町田上下水道局長、小田切消防局参事、村上危機管理防災監

事務局/（企画課）青木次長、稲垣主幹、市村課長補佐、東福寺係長、室田主査、平井主査、板倉主査

（人口増推進課）依田課長、宮下課長補佐、飛澤主査

1 開会

（事務局）

定刻となりましたので、これから第4回長野市総合計画審議会を開会いたします。

私は、企画課課長補佐の市村と申します。よろしく願いいたします。着座で失礼いたします。本日は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部の方と部局長はリモートによる出席とさせていただきます。リモート出席の委員の皆様、音声等接続の調子はよろしいでしょうか。また、発言される時以外は音声はミュートでお願いいたします。

本日の資料の御確認をお願いいたします。事前にお送りいたしました、次第と資料1、資料2、資料3-1、資料3-2、資料4、資料5、資料6に加えまして、座席表、審議会委員名簿及び長野市部局長名簿になります。不足等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。各委員の出席形態、会場かリモートかについては座席表にて御確認ください。

なお、本日は、青柳委員、池尻委員、萱津委員、黒岩委員、小木曾委員、清水委員、梅干野委員、横地委員から欠席の御連絡をいただいております。リモート出席の方は座席表の黒岩委員、横地委員を欠席で修正をお願いいたします。

それでは金物会長から、ごあいさつをお願いしたいと思います。

2 会長あいさつ

(金物会長)

本日は、本年度第4回目の会議ということで、皆様お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。今年の冬は例年に比べ雪が多くて、雪かきなどで大変な年となっております。また、寒い日が続いておりますので、体調管理には十分気を付けたいと思います。

御存じの通り、再び新型コロナウイルスの感染症が猛威を振るっておりまして、市内でも学校が休校になるなど、クラスターが発生している状況であります。皆さんも感染対策を徹底して、十分お気をつけたいと思います。本日は感染対策ということで会場とリモート出席とに分かれていただくことにより、会場が密にならずに開催できましたことに対して、委員の皆様への御協力に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

本日の会議の予定ですけれども、議事として、「第五次長野市総合計画後期基本計画（案）のパブリックコメントの結果」及び「第五次長野市総合計画後期基本計画（答申案）」の他に、人口ビジョンの改訂案となります。また、その他として、現在長野市で進めているスマートシティの進捗状況についての説明があります。

長きに渡った策定作業も最終段階を迎えておりますが、先月実施されたパブリックコメントの結果を受けて、事務局で修正した箇所がありますので、本日はパブリックコメント（案）からの修正点について、御審議をいただきます。2月8日の答申に向けて、後期基本計画策定の最終的な審議となります。リモート出席を組み合わせるため、いつもと多少勝手が違いますけれども、皆様の忌憚のない御意見をいただきますようお願いいたします。よろしく願いいたします。

3 議事

(事務局)

ありがとうございました。それでは、議事に移らせていただきます。議長につきましては、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第6条第1項に基づき、金物会長にお願いいたします。

なお、終了時刻ですが、午後5時までに終了したいと考えておりますので、御協力よろしくお願いいたします。

また、議事におきまして、会場の委員の方が発言される場合は、挙手をしていただき、議長から指名されましたら、事務局職員がマイクをお持ちいたしますので、お座りになったまま発言をお願いいたします。リモートで出席していただいている委員の方は、お手数ですが、Zoomのマイクをオンにさせていただいたうえで、お名前をおっしゃっていただき、発言を申

し出て、議長から指名がありましたら発言をお願いいたします。

それでは、会長よろしくをお願いいたします。

(金物会長)

それでは、議事に入りたいと思います。まず、議事の「(1) 第五次長野市総合計画後期基本計画(案)に係るパブリックコメントの実施結果について」、事務局からお願いいたします。

—事務局説明—

青木次長より、資料1、資料2に基づき「第五次長野市総合計画後期基本計画(案)に係るパブリックコメントの実施結果について」説明

(金物会長)

「第五次長野市総合計画後期基本計画(案)に係るパブリックコメントの実施結果について」御説明がありましたけれども、御意見、御質問があればお願いいたします。

(廣田委員)

2点ほど意見を挙げさせていただければと思います。

まず、資料2の3ページの連番8、25ページについて挙がってきている意見についてですが、このパブリックコメントに意見を寄せていただいた方達の年齢層を含めてになります。多世代・多分野の方が市政に関心を持っていただくことがすごく重要です。いろいろな世代の方の目につきやすい形で外に出て行って、いろいろな方達がアイデアを出しやすい環境作りが必要だと思います。今後御検討をお願いしたいです。

続いて、4ページの連番12、36ページについて、具体的にパブリックコメントを寄せていただいた内容とは少し異なるかもしれませんが、コロナ禍で孤立している方がいろいろな世代にいます。こんな時だからこそ孤立を防ぐための体制づくりが、どの分野でも必要になってくると思いますので、寄せていただいた意見を含めて、今後御検討いただければと思います。

以上、2点になります。

(青木次長)

パブリックコメントの年齢層は集計をしておりません。いろいろな団体、住民自治協議会等、多くの市民から意見をいただくように努力しました。御意見を参考にして、パブリックコメントを実施する際は、多くの市民の方の目につきやすい環境を作っていきたいと考えております。

また、孤立しない体制づくりについては、保健福祉部中心に体制づくりを進めているとこ

ろであります。参考にさせていただきます。

(廣田委員)

ありがとうございます。

(金物会長)

他のリモートで出席されている委員の方もよろしいでしょうか。他に御意見がなければ、「第五次長野市総合計画後期基本計画(案)に係るパブリックコメントの実施結果について」は、説明内容及び委員からの意見を含めて修正をしたうえで、市民の皆様に公表することになりますので、よろしく願いいたします。

続いて議事の(2)「第五次長野市総合計画後期基本計画(答申案)について」事務局から説明をお願いします。

—事務局説明—

青木次長より、資料3-1、資料3-2に基づき「第五次長野市総合計画後期基本計画(答申案)について」説明

(金物会長)

ただいま「第五次長野市総合計画後期基本計画(答申案)について」説明がございました。御意見、御質問があればお願いいたします。

(川北委員)

二つ質問があります。

まず、市長が新しくなったので反映したという中で、13ページに追記があったかと思いますが、「経済的に安定した」という表現があるが、勉強不足なところもあって申し訳ないですが、市長が何を考えているのか詳しく知りません。「経済的に安定した」というのはどういったイメージを持たれているのかが一つ目の質問です。

二つ目の質問は、69ページのスポーツの話で市長の意見で追記したとのことですが、競技団体の運営基盤の強化を図るとするのは、具体的にはどういうことなのか。何をイメージしているのか。強化を図るとしても、市役所はどのようなことができるのかイメージがつかめなかったので、補足をお願いします。

(青木次長)

まず、(事務局から)健幸増進都市のことについて、御説明します。

13ページ「経済的にも安定した暮らしの中で」ということですが、市長の意図としましては、普段の生活に不安のない、経済的にもゆとりのある生活をしている状況というのを心

の健康のひとつとして、健幸増進都市ということで表しています。

(小林文化スポーツ振興部長)

市長公約の中でオリンピック選手の輩出ということで、長野市からは競技団体へ、長野市スポーツ協会を通して、競技団体、国際大会へ出場した選手への支援を行っています。ただ、これは選手だけの努力だけではなく、競技団体の運営の基盤強化、各団体に対しての競技振興に伴う補助等を効率的に行い、多くの人がスポーツに参加してもらって、新しい選手を生み出す、そして競技力の向上に繋げていただくという意味合いを含めて、「競技団体の運営基盤の強化を図り、競技力向上及び競技スポーツ人口の拡大につながる取組を推進する」という表記を加えたものです。

(川北委員)

経済的に安定したというのは、心と体の健康という部分につながるという話ですが、「健幸増進都市」というキャッチコピーの中には、産業を発展させるというニュアンスはそれほど強くないというイメージで良いのでしょうか。

また、スポーツは選手個人の努力だけではなく、みんなで支えていくというイメージを持ちました。競技団体はいろいろな組織体があると思うのですが、経営組織体として、ちゃんと確立させなさいというか、ガバナンスなのかガバメントなのかを確立したりとか、経営基盤をちゃんとしなさいというニュアンスは含まれていないという理解で良いのでしょうか。

(青木次長)

健幸増進都市の考え方の中に経済の発展が含まれているかということですが、市長の考えとしては、市内経済も活発である必要があるということです。市内経済が活発になることによって、市の財政をはじめとする行政の健全性、これもまちの健康度を測るひとつの指標になると考えています。経済の発展も健幸増進都市の中の一部として考えています。

(小林文化スポーツ振興部長)

運営基盤、ガバナンスも含んでいます。プラスになりますが、個別計画の長野市第三次スポーツ振興計画の中では、競技者だけではなく指導する人のインテグリティ、インテグリティとは誠実性、健全性、高潔性の向上も加えています。今回、総合計画でこの部分を追加し、個別計画でより具体的なものを謳っているという流れになっています。

(金物会長)

小林部長からの御説明でしたが、よろしいでしょうか。

(川北委員)

ありがとうございます。

(轟委員)

3点ほど確認いただきたいことがあります。

一つ目として、それぞれの施策に分野横断テーマの表記をしたということですが、見せ方の問題ですが、アイコンで「①」「②」「③」とあってもピンとこない。「①」がまちのこと、「②」がひと、「③」がしごとのことだと思いますが、視覚的に分かりやすい表現にした方がいいと思いました。

二つ目、29 ページの施策の2の市民の満足が得られる市政の推進について、個別計画として長野市DX推進計画が新たに追記されたとの説明がありましたが、新しい計画がどういふものなのか理解できていないので、教えていただきたい。主な取組が、個別計画にどれくらい反映されているのか。統計指標にあるような電子申請の利用件数や電子申請の登録手続件数といった内容の目標値を設定しているものなのか教えていただきたい。

もう1点はコメントになりますが、市長の方針で追加したという部分は、分野横断テーマの中で、市長の思いというのがこういう風に反映されているとか、具体的に16ページ～18ページに、市長の思いが十分にテーマ実現のための視点に入ってきているのかをお聞きしたい。

(青木次長)

DX推進計画の概要については、後ほど総務部長から回答します。

分野横断テーマの印(しるし)、アイコンについては、まち・ひと・しごとを表すものの追記をすることを検討させていただきたいと考えています。

分野横断テーマ、16～18ページのテーマ実現のための視点を、委員の皆様と議論していただき、追加させていただきました。

市長の公約の中にあって、テーマ実現のための視点の中に載っていなかった部分が16ページの○の三つ目「健康と心の豊かさの増進」であり、これも健幸増進都市に繋がるものがありますが、「心身ともに健康で充実した生活を送り続けることができるまちを目指します」というのは、市長公約の中から追記したものです。それ以外のものは、審議会で御審議いただいた内容が盛り込まれています。

(池田総務部長)

行政DX推進計画について御説明します。従来、高度情報化基本計画として策定していたものを、昨今のDXということを受け、今年度改定を進めており、令和4年4月から実施する計画となっています。

総合計画の主な取組の中の、○の二つ目と三つ目にある行政手続のデジタル化、AIやデ

デジタルなどの先端技術の活用という部分を中心にしたものになっています。内容的にはマイナンバーカードの活用、各種申請のオンライン化、デジタルデバイド対策など、ひとつひとつの実施する項目を細かく挙げていく計画となっており、2月からパブリックコメントを実施し、本編を公開する予定となっています。

数値目標は、数値目標を設定できるもの、例えばオンライン申請をどれくらいの件数にしていきたいのか、マイナンバーカードもどのくらいの普及率にしたいのかなどの数値目標も具体的に掲げています。質問をいただいた内容を含んだ計画になっています。

(轟委員)

最後のDXのところ、個別計画と総合計画の指標に関して、総合計画に掲載されている電子申請の利用件数と登録手続件数が現状と目標に設定されていますが、個別計画の方で、もう少しこういう指標の方が取りやすい、わかりやすいというものがあれば追記してもらえたらいいと思いますので、御検討願います。

(池田総務部長)

必要があれば追記させていただきたいと思いますが、現状では総合計画に記載した内容と個別計画の記載した内容を合わせていくものでもありますので、企画課と調整をさせていただきます。

(金物会長)

大きな修正を要する意見はなかったと思いますが、修正に関してはどのようにしましょうか。

(青木次長)

最後の数値目標を追加するか否かについては、総務部と調整し、正副会長に御報告して、修正があれば修正させていただきたい。よろしいでしょうか。

(金物会長)

それでは、基本的には答申案の通り、進めるということでよろしいでしょうか。

～異議なし～

(金物会長)

第五次長野市総合計画後期基本計画（答申案）については、原案のとおりとさせていただきます。

それでは続いて議事の（3）「長野市人口ビジョン（改訂版）案」について、事務局から

説明をお願いします。

—事務局説明—

依田課長より、資料4に基づき「長野市人口ビジョン（改訂版）案について」説明

（金物会長）

ありがとうございます。「長野市人口ビジョン（改訂版）案」の説明がありました。御質問があればお願いします。

（伊藤委員）

人口ビジョンの改訂ということで、資料4と5を見ました。詳細に分析していて、大変手間がかかったことだと思います。

人口問題ですが、数年前に90万人ショックということで、全国の出生数が90万人を切って、コロナショックもあって、去年は80万人前半、今年はさらに減って70万人前半になるのではとされています。1年間に全国で10万人位減っています。

現状として、具体的に人口を増やすなら、児童手当が1ヵ月、月1万円程度しかないし、先日長野市が特別に実施した児童扶養手当も1ヶ月、月5万円しかありません。子どもを育てるためのサポートが弱いと思います。弱い中で人口が毎年減っていくと、長野市のような地方都市は、関東圏と違ってさらに大きな影響を受けます。

今後も耕作放棄地も、空き家も増えます。消費のボリュームが減り、家も売れなくなるし、車も売れなくなるというのは20年後に明々白々なことです。経済だけが目的ではないが、社会を構成する人は必要ですし、2045年段階で、0～25歳まで5,000人台、長野市全体で資料5の6ページにあります。団塊の世代は90歳以上になって約1万5,000人近くいるという予測が立っています。社会全体が高齢化社会になりかけていて、更にそれが進展する。長生きであることはめでたいが、次の世代が生まれてこないのは問題だと思います。

このまま行けば恐らく取り返しがつかないとまでは言いませんが、江戸時代が人口3,000万人くらいなので、推定が6,000万人位だと思いますが、長野市の人口もこの推移で行くともっと減るのではないかと思います。

今のプランでいけば、人口減少抑制策に留まっていると思います。後期の基本構想は認定されているので、質問したいのは、この5年間の基本計画の中で、現段階で人口ビジョンがこれだけ減る、さらに減る数値が出ている環境下において、人口増推進課から具体的なアクションプランが出てくると思うが、承認された計画の中で、どのような人口増施策を取るつもりなのでしょうか。

大枠が決まっている中で、人口の激減を減らす施策なり、増やすなり的手段は行政としてどういうものを考えているのかという質問です。

(依田課長)

今、御指摘をいただいたことは大きな課題と認識しています。出生率が減少し続けているのは自然増減に大きな影響があります。

一つ良い方向になると考えられるのは、不妊治療が保険適用されるということで、期待しております。日本全体で人口が減っている中で、他の県から長野市に人口を呼び込むのは大きな視点で見れば得策ではないかもしれませんが、移住・定住の促進ということで、今は東京圏への人口流出が多い状況ですので、東京圏から長野市へ呼び込もうという施策を中心に進めています。

後期基本計画5年間でどのような施策をとという話ですが、総合計画と一体化して、分野横断テーマを総合戦略として位置付け推進し、より迅速かつ柔軟に運用できればと考えています。人口がこれから減ることは間違いないので、人口を増やすという視点だけではなく、人口減少に対応した施策を十分に考えていかなければと思います。

(伊藤委員)

急な質問で恐縮です。御回答ありがとうございます。資料5の64ページにこうした環境下で、「市民と意識を共有しながら、自然動態と社会動態の改善に資する施策を一体的に推進する」と書いてあります。これは難しいですよ。女性の意見が反映されなければ、この施策は成立しないし、時間的な制約もあると思う。“市民と意識を共有し”というのは行政として書かなくてはならないと思いますが、市としてイニシアティブをとらないと大袈裟に言うとは取り返しがつかないことになると思います。

長野市の将来を維持するために、企画政策部の皆さん、人口増推進課の皆さん頑張ってくださいと思います。よろしく申し上げます。

(依田課長)

参考にさせていただきます。

(金物会長)

他にございませんか。

(廣田委員)

資料5の中で高校生に向けた意識アンケートを盛り込んでいただいたと思いますが、55ページの「地元での生活を選択する場合、重視すること」について項目として挙げていただいているのですが、上位2回答も含めて安心して暮らせる環境があると地元での生活のイメージができるということを感じました。安心して暮らせるというのは、将来を考えるゆとりができるということに、57ページの家庭を持つイメージにもつながると見させてもらいました。今、高校生も含めて、子どもたちがコロナ禍でいろいろな不安を抱えて生活していると

思います。子どもたちをしっかりと守っていくことが、将来、長野での暮らし、愛着を含めて考えていくきっかけにつながると思います。そういった点を重点的に盛り込んでもらえればと思います。

(依田課長)

地元への愛着は大切な視点になると思いますので、取り組んでいきます。

(金物会長)

それでは「長野市人口ビジョン（改訂版）案について」は原案通り決定させていただきま
す。

予定をしておりました協議事項は以上になりますが、全体を通じて御意見はありますか。
ないようでしたら、進行を事務局にお返しします。

(事務局)

ありがとうございました。

それでは次第4、その他としまして「スマートシティ NAGANO 構想の進捗状況について」
事務局から説明させていただきます。

—事務局説明—

青木次長より、資料6に基づき「スマートシティ NAGANO 構想の進捗状況について」説明

(事務局)

ただ今の説明につきまして、御意見・御質問がありましたらお願いいたします。

(藤原委員)

1点質問をさせていただきます。ビジョンは現在検討中という説明であったが、サーキュラー
シティ、サーキュラーの考え方は、別にデジタル化だけの話ではないと思います。海外のア
ムステルダムやドイツの事例を見ても行政のリーダーシップが大事になってくる中で、ビ
ジョンがサーキュラーシティになったときに、今の方向性以下の部分、スマートシティの全
体像を含めて見直さないといけないということになるのではないか。見直す可能性がある
のか。ビジョンベースで見た今後の方向性、議論をどう行っていくのかお聞きしたい。

(青木次長)

サーキュラーシティという考え、Z世代の若者から将来どんな長野市でありたいか聞く中
で、いろいろなもの行き交うまちが良いという意見をもらいました。アムステルダムのよ
うなサーキュラーエコノミーという考え方も大事ですが、お金が循環したり、人、もの、こ

とが循環する、いろいろなものが循環するようなサーキュラーシティを目指していきたい。かなり広範囲な考え方であり、サーキュラーエコノミーというように閉じた考え方ではありません。プロジェクト案の方向性を示しているが、具体的なプロジェクトの中でサーキュラーシティに合致するものを選んでいきたいと考えております。

(藤原委員)

説明のあったサーキュラーの価値観を取り入れていくことになったときに、デジタルだけでなく、方向性、戦略、重点領域を今後見直していく可能性はありますか。

(青木次長)

スマートシティということなので、基本的にはデジタル技術を活用した取り組みになります。最も課題感のある重点領域を一旦は5領域掲げているが、今後、いろんな領域で幅広く検討していければと考えています。

(藤原委員)

サーキュラーの価値観といい、方向性、戦略、重点領域については行政的なやり方でなく、もっと柔軟にやってほしいというメッセージがZ世代の意見としてあると思います。難しいことだとは思いますが、是非チャレンジしていただきたい。

(青木次長)

Z世代の皆さんからは、あまり役所っぽくなくということを言われています。期待に沿うように進めていきたいです。

(川北委員)

長野市が進めようとしているスマートシティ構想、プロジェクトは、特徴、長野市らしい進め方ないし、プロジェクトの形はありますか。関連して、全国の自治体でスマートシティをそれぞれに進めていこうとしていると思いますが、全国的にはどういうパターンというか、スマートシティの姿があって、その中で長野市の場合はこんな形で進めていこうという、やりながら進めていくというのが主だと思うが、いまの段階で見えている部分はどんな現状なのでしょうか。

(青木次長)

全国的には、新聞、テレビでも話題になっている自動運転バス、ドローンの宅配というのが全国的には多いです。コロナ禍で遠隔診療が進んでいます。

長野市の特徴として進めていくのは、単にサービスを提供するだけでなく、経済発展と両立をさせていきたいと考えているところであります。民間企業の皆さんがサービスを提

供する際に、商売・ビジネスになるような形ができないかを模索していきたい。最終的にはビジネスが新産業につながる形に持っていきたい。そこまで考えているのは全国的には少ないと思っていますので、長野市の特徴だと思えます。

(轟委員)

スマートシティ NAGANO 構想に基づいて、今後ビジョンを作っていく、組織を作って旗振り役になっていくという説明をもらいましたが、そもそも構想の実施計画みたいなものはあるのか。構想というのと計画は別だと思えますが、何に基づいてこの組織を作っていて、ビジネスプランコンテストやること自体は良いことだと思いますが、何を目的にやるのか見えない。こんな目的があるから、これをやることによって、こういう成果があるというのがあれば、将来的にスマートシティにつながっていくというのが見えてくるが、計画というか、今後取り組んでいきたいというものがあるのでしょうか。

(青木次長)

現在、いろいろな取組を始めていますが、これらをまとめて全体設計をしていかなければならないと考えています。現在、スマートシティ NAGANO 基本計画を策定しており、今年度中には策定する予定となっています。その計画に沿って、いろいろなものを進めていきたい。轟委員がおっしゃっているアクションプランについては、毎年度、具体的に基本計画に沿って策定していくことを考えています。

(轟委員)

(アクションプランを) 作っていかれるということであれば、参考までに私のコメントとして、今やっている取組みは既にビジネスに取り組んでいる人を応援しようということですが、子どもの愛着を高めることにも関連するかもしれませんが、IT 技術を備えた若者を育てていく、人を育成するところにも力を入れていただきたい。

Zoom でオンライン会議をやっていることは長野の経済の発展にどうつながるのか。便利かもしれないが、儲かるのは Zoom を作っている会社であって、長野の経済に影響しているのは微々たるものであります。例えば、会議をしたりディスカッションしたりする仕組みを自前で作って、長野市のいろいろな所で使うと、面白そうだねとなって全国へ広がっていく。そういう作りこみができる人材を育てることも重要だと思います。そういうことも含めてアクションプランを作る時に御検討いただければと思います。

(青木次長)

長野市でも信州 IT バレー構想等に基づいて、スタートアップ、ベンチャー企業を呼び込んで、IT 企業の集積を図っていこうと考えています。スマートシティを進めていく上で、人材が重要であることも重々承知しています。大学、高専の皆様と連携しながら IT 人材の

育成に取り組んでまいりたい。そちらについても計画に反映させていきたいと考えております。

(事務局)

ありがとうございました。スマートシティ NAGANO 構想につきましては、第五次長野市総合計画との整合性を図りながら進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

最後に、「次回以降の予定」について、事務局から御連絡申し上げます。

2月8日の答申については、金物会長と市村副会長に御出席いただき、答申をいただきます。

次回の審議会は、8月頃を予定しております。詳細な日程については決まり次第、御連絡を差し上げますが、議事としましては、前期基本計画の計画期間の最終年度となる令和3年度の第五次総合計画の進捗についてなどを予定しております。

最後に全体を通じて何か御質問等がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

委員の皆様には大変お忙しいお立場でありながら、長期間に渡り後期基本計画の策定業務に携わっていただき、感謝申し上げます。

今後とも総合計画の推進への御協力をよろしくお願いいたします。

それでは以上を持ちまして、第4回総合計画審議会を閉会といたします。長時間の御審議ありがとうございました。お疲れ様でした。